

# 第3節

## 県づくりの方向性

### 〔各地域の課題や特性を踏まえた取組の推進〕

本県では、東京との近接性や、美しい海と豊かな緑などの自然環境、歴史的経緯などにより、それぞれの特性を生かした産業や文化が育まれ、個性ある地域づくりが進められてきており、県北西部では、人口増加や商工業の集積が進み、東京湾臨海部には我が国を代表する工業地域が形成され、県南部や東部では、農林水産業や観光業の振興が図られています。

また、本県は、優れた都市機能・社会インフラを持つとともに、豊かな自然環境や魅力的な観光地、多様な文化を有し、農林水産業・商工業などバランスの取れた産業構造を形成しています。

こうした中、千葉県は、今後、成田空港第3滑走路の供用開始等、「第二の開港」とも言うべき拡張事業や、その効果を県内全域に波及させる圏央道の県内区間全線開通、北千葉道路、銚子連絡道路、長生グリーンラインなどの高規格道路の整備進展による更なる道路ネットワークの充実といった交通インフラ整備により、本県の活力が一層向上する好機を迎えています。

今後の県づくりの方向性としては、この好機を的確に捉え、本県経済をけん引することが期待される地域を中心に産業拠点形成に向けた取組を進めるとともに、国家戦略特区制度なども積極的に活用しながら、ビジネス環境を整え、県内各地域の更なる発展につなげていきます。

さらに、様々な人や多様な文化を受け入れられるよう、それまでの慣習や地域性に囚われない寛容性を養うことで、誰もが活躍できる環境づくりを進めるとともに、地域が有する魅力を県内外へ戦略的に発信することで、より多くの人を千葉県内に呼び込んでいきます。

こうした取組を通じて、「人・モノ・財」の流れをより一層大きくし、各地域の産業振興、魅力あるまちづくりの推進、移住・二地域居住、定住、関係人口の増加などにつなげることで、県全体の活性化を進め、県内外から求められる千葉の実現を図っていきます。

なお、本県は、東京と隣接している地域、工業が発達している地域、海や里山など豊かな自然を有している地域など、様々な表情を持っており、各地域を取り巻く状況は一律ではないことから、それぞれの地域の実情に応じた対応が求められています。

こうしたことから、人口や産業構造、地理的条件、交通網の整備状況等、各地域が持つ特性を把握した上で、共通する特性や可能性を持つ地域を大きなくくりとして、6つのゾーンを設定し、それぞれの特性や強みを踏まえ、地域の活性化に向けた取組の方向性を示すこととしました。

なお、人々の生活や企業の経済活動等は、市町村の枠に捕らわれずに展開されているものであり、産業基盤や交通網の整備等により変化することも想定されることから、ゾーン設定は市町村域と必ずしも一致するものではなく、一つの市町村が複数の特性を併せ持つ場合もあります。

〔各ゾーンはおおむね次のような地域を想定しています。〕

○ 東葛・湾岸ゾーン

千葉市、市川市、船橋市、松戸市、野田市、習志野市、柏市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市及び浦安市等を中心とした地域

○ 印旛ゾーン

成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、酒々井町及び栄町等を中心とした地域



○ 内房ゾーン

木更津市、市原市、君津市、富津市及び袖ヶ浦市等を中心とした地域

○ 香取・東総ゾーン

銚子市、旭市、匝瑳市、香取市、神崎町、多古町及び東庄町等を中心とした地域

○ 南房総・外房ゾーン

館山市、勝浦市、鴨川市、南房総市、いすみ市、大多喜町、御宿町及び鋸南町等を中心とした地域

○ 九十九里ゾーン

茂原市、東金市、山武市、大網白里市、九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町及び長南町等を中心とした地域

注

- 1 行政各分野における個別計画の策定やサービスの提供に当たっては、このゾーン設定にかかわらず、それぞれの観点から圏域設定を行う必要があります。
- 2 このゾーンは、市町村間の自主的な連携を妨げるものではありません。
- 3 人口に関する数値は、「令和2年(2020年)国勢調査」のデータを用いています。ただし、将来推計人口については、令和5年度(2023年度)に社人研が行った将来推計人口のデータを用いています。